

# 第1章 沖縄県の概要

## ■位置・地勢

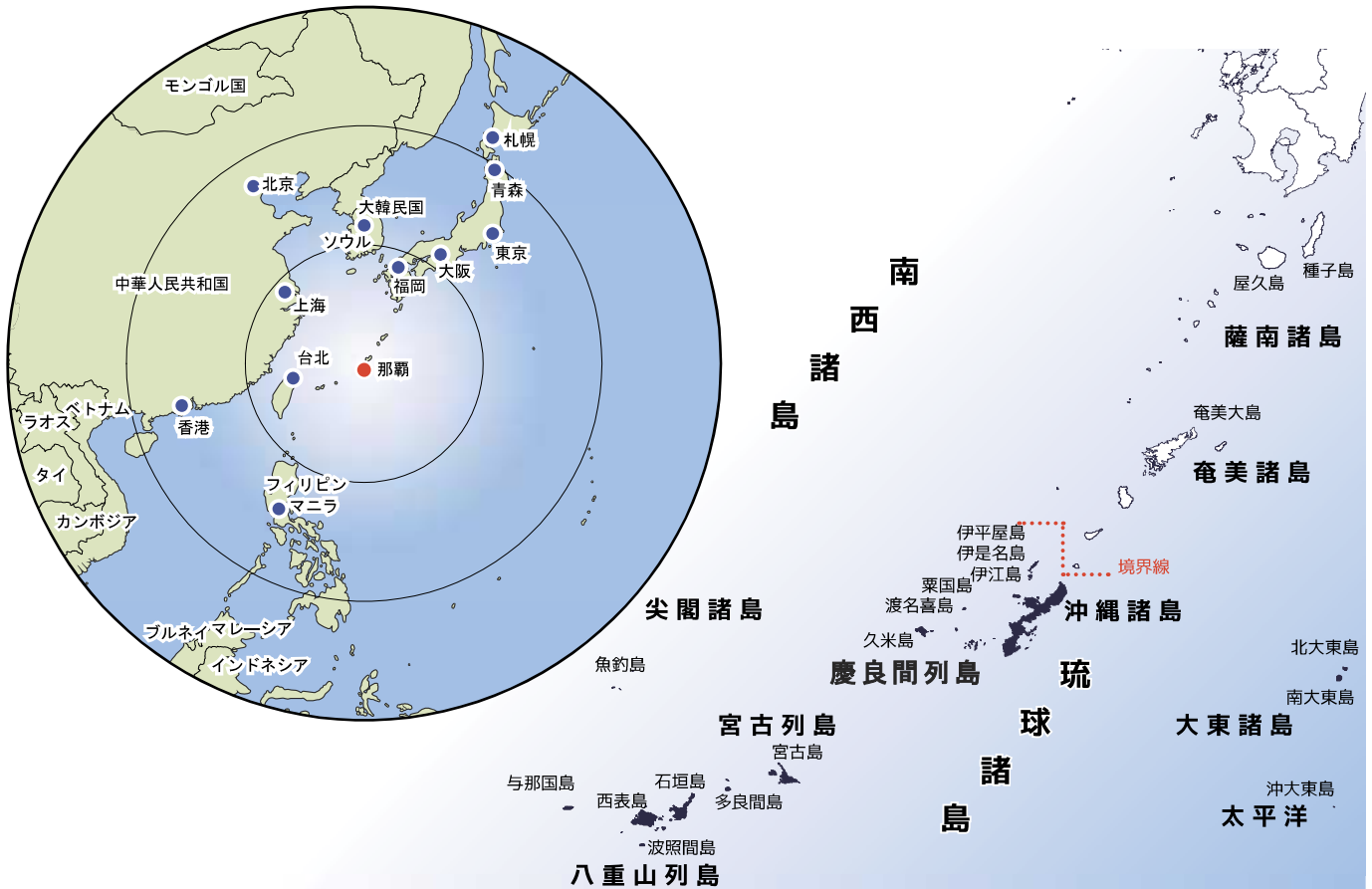
沖縄県は、日本列島の最南西端に位置し、東西約1,000 km、南北400 kmの広い海域に点在する大小160余(うち有人島48)の島々で構成されています。我が国唯一の海洋県・島しょ県で、与那国島は我が国の最西端、波照間島は有人島の最南端に位置しています。中でも与那国島は、その島影が見えるほど台湾と近接しています。

このように沖縄県は、中国、東南アジア、オセアニアなどに最も近い距離に位置し、日本の南玄関口となっています。

島々は全体的に平坦なカルスト台地からなり、最も高い山は石垣島の於茂登岳(526m)、最も長い川は西表島の浦内川(流路延長18.5 km)です。



石垣島



## ■沿革

沖縄が歴史に登場するのは12～13世紀頃で、当時は中国との交易が頻繁に行われていました。15世紀に按司(あじ)と呼ばれる地方有力者の一人である尚巴志(しょうはし)が統一を成し遂げ、琉球王国が誕生しました。尚巴志は首里に都を移し、その居城である首里城を構えました。

14～16世紀には航海術を駆使して日本や中国、朝鮮、東南アジア諸国との交易を繰り広げ、外来文化がもたらされ、琉球独自の文化が生み出されました。1879年、廃藩置県により琉球王国は沖縄県に生まれ変わりました。

太平洋戦争においては、日本で唯一の地上戦が行われ、県土は焦土と化し、一般県民9万4,000人を含む20万人余が戦死しました。終戦と同時に、沖縄県は米国の施政権下に置かれ、1972年5月15日に日本に施政権が返還されるまでの27年間、米国による支配が続きました。日本復帰後は沖縄振興開発計画等によって、産業・教育・社会資本等の整備が進められ、現在は「沖縄21世紀ビジョン」で掲げた5つの将来像の実現に向けた



1993年に復元された首里城



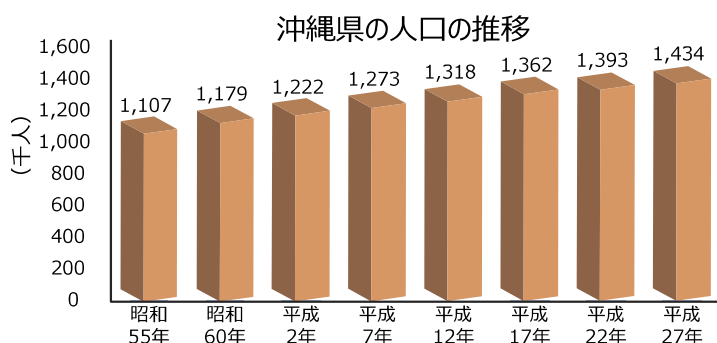
1955年に建設された沖縄戦犠牲者の名前を刻んだ平和の礎

## ■人口

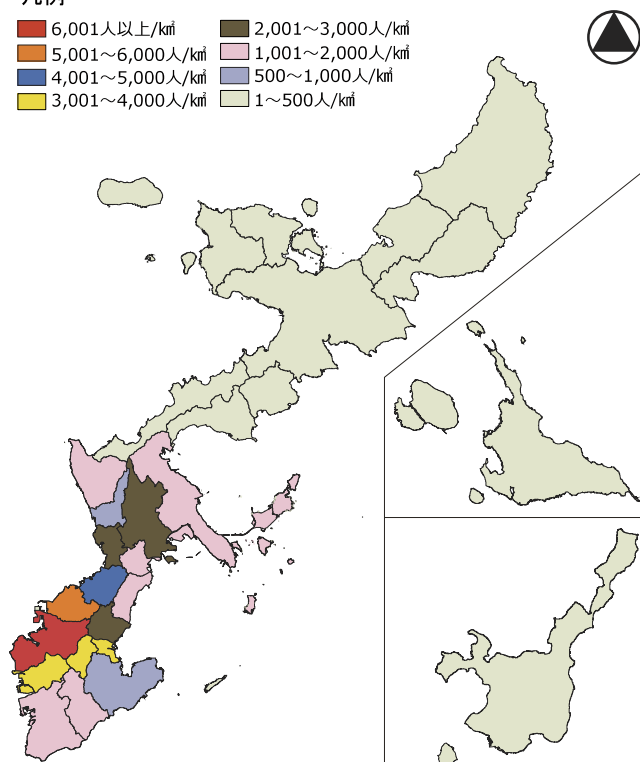
本県の人口は、戦前は50万人台で推移し、戦争により減少したもののベビーブーム等で急増し、昭和49年に100万人を突破し、その後も順調に増加を続け、平成27年国勢調査では143万3,566人となっております。

全国ではすでに人口減少社会に転じている地域が多い中、本県では中南部を中心に人口は増加しています。

また、人口の約9割が沖縄本島に居住し、特に、那覇市を中心とした中南部に人口が集中しています。



凡例



出典：平成28年度都市計画基礎調査 2

## ■ 気候・風土

沖縄県は我が国で唯一亜熱帯海洋性気候下にあり、年間平均気温は23.1度、12月から2月の冬季でも平均気温17.9度と、年中すごしやすい気候となっています。

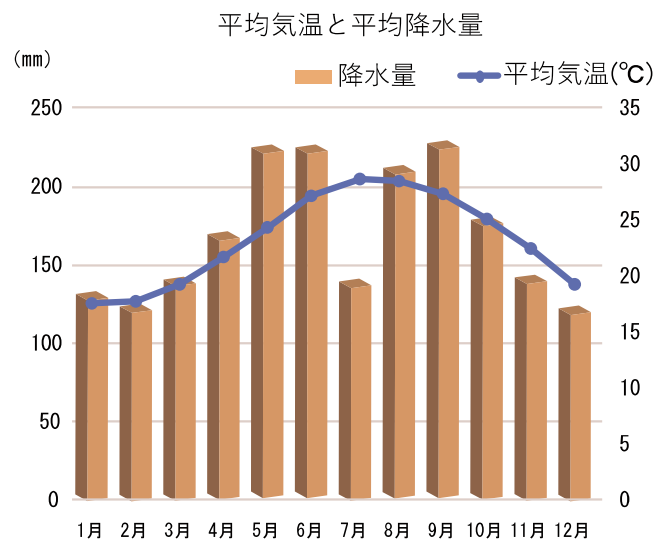
5月の梅雨のシーズンが明けると連日30度を超える本格的な夏が到来します。7月～9月にかけては台風の襲来が多く、「台風銀座」と呼ばれています。

また島々には亜熱帯の特徴的な動植物が生息し、生物多様性が豊かな森林（やんばるの森、マングローブ林等）、サンゴ礁など、様々な生態系が育まれています。

西表島に生息するイリオモテヤマネコや沖縄本島北部に生息するヤンバルクイナ、ノグチゲラ等は天然記念物に指定されています。

また、県花のデイゴやハイビスカス等の花々は鮮やかな朱色で生け垣や街路樹として植えられています。

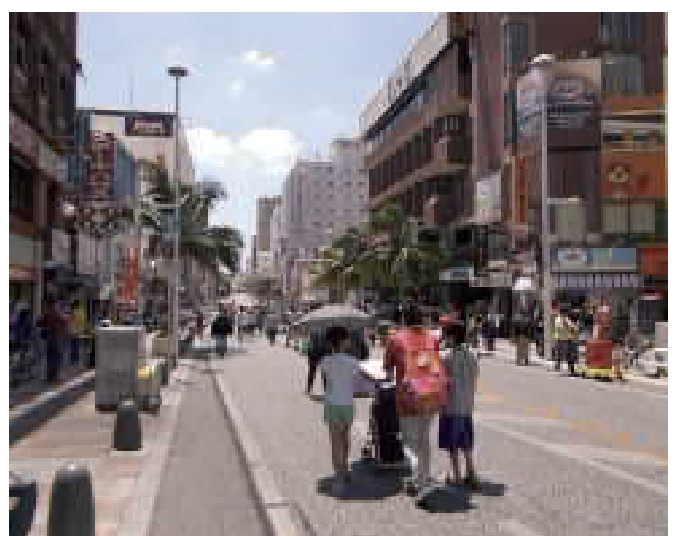
日本一早い桜の開花地であり、「沖縄花のカーニバル」や「沖縄国際映画祭」等が開催されています。また年間を通して暖かいため、夏場を中心に現在、年間1千万人を超える観光客が訪れています。



統計期間 1989年～2018年  
観測場所 沖縄県内の全観測地点  
出典：気象庁データ



瓦屋根とハイビスカス



国際通りトランジットモール

## ■ 沖縄21世紀ビジョン

沖縄21世紀ビジョンとは、県民の参画と協働のもとに、将来(概ね2030年)のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想です。沖縄県として初めて策定した長期構想で、沖縄の将来像の実現を図る県民一体となった取り組みや、これからの県政運営の基本的な指針となるものです。

沖縄21世紀ビジョンでは、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」、「心豊かで、安全・安心に暮らせる島」、「希望と活力にあふれる豊かな島」、「世界に開かれた交流と共生の島」、「多様な能力を発揮し、未来を拓く島」を5つの将来像として掲げており、それぞれの将来像を実現するため、2つの基軸を基に、36の基本施策及び121の施策展開が連なっています。

沖縄21世紀ビジョンで掲げた5つの将来像の実現に向けて、都市計画分野も重要な役割を担っています。

### 沖縄21世紀ビジョンで目指す5つの将来像と 基本計画に掲げる36の基本施策

#### 将来像 I

沖縄らしい自然と  
歴史、伝統、文化を  
大切にする島

- (1) 自然環境の保全・再生・適正利用
- (2) 持続可能な循環社会の構築
- (3) 低炭素島しょ社会の実現
- (4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
- (5) 文化産業の戦略的な創出・育成
- (6) 価値創造のまちづくり
- (7) 人間優先のまちづくり

#### 将来像 II

心豊かで、  
安全・安心に暮らせる島

- (1) 健康長寿おきなわの推進
- (2) 子育てセーフティーネットの充実
- (3) 健康福祉セーフティーネットの充実
- (4) 社会リスクセーフティーネットの確立
- (5) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
- (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
- (7) 共助・共創型地域づくりの推進

#### 将来像 III

希望と活力に  
あふれる豊かな島

- (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
- (2) 世界水準の観光リゾート地の形成
- (3) 情報通信関連産業の高度化・多様化
- (4) アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
- (5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
- (6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
- (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
- (8) 地域を支える中小企業等の振興
- (9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成
- (10) 雇用対策と多様な人材の確保
- (11) 離島における定住条件の整備
- (12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
- (13) 駐留軍用地跡地の有効利用の推進
- (14) 政策金融の活用

#### 将来像 IV

世界に開かれた交流と  
共生の島

- (1) 世界との交流ネットワークの形成
- (2) 国際協力・貢献活動の推進

#### 将来像 V

多様な能力を発揮し、  
未来を拓く島

- (1) 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進
- (2) 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
- (3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
- (4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
- (5) 産業振興を担う人材の育成
- (6) 地域社会を支える人材の育成